

第12回 定例教育委員会議事録		日 時 : 令和4年12月23日(金)	
		場 所 : 菱刈庁舎3階大会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 10時29分 閉会	
出席委員	教育長 春田浩志 教育委員 永野 治 教育委員 久保田悦子 教育委員 長野吉泰	議場に出席した者の氏名	教育総務課長 平崎祐実 学校教育課長 竹下健一郎 社会教育課長 中村康雄 学校給食センター所長 有馬洋一郎 文化スポーツ課国体係長 御書 久 書 記 茶園浩幸 書 記 中原百恵
	議事日程		
別紙のとおり			
審 議 状 況			
<p>(春田教育長) ただいまから令和4年第12回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(茶園係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(春田教育長) 「令和4年第11回定例教育委員会議事録及び令和4年第2回臨時教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(茶園係長) 令和4年第11回定例教育委員会議事録及び令和4年第2回臨時教育委員会議事録について報告(別紙「概要報告書」により報告)</p> <p>(春田教育長) ただいま事務局より、令和4年第11回定例教育委員会議事録及び令和4年第2回臨時教育委員会議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(春田教育長) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(春田教育長) 令和4年第11回定例教育委員会議事録及び令和4年第2回臨時教育委員会議事録については、承認いたしました。</p> <p>続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。</p> <p>教育長報告については、お手元の11月25日から12月22日までの教育長諸般の報告をもとに説明します。</p> <p>(別紙「諸般の報告」により日を追って報告)</p> <p>(春田教育長)</p>			

続きまして、永野治委員お願いいたします。

(永野治委員)

はい。11月27日に「海潮忌・文学フェスティバル」に参加しました。コロナ禍の中で人数制限があったので、例年ほど参加者は多くありませんでしたが、良い大会だったと思います。文学フェスティバルの中で、海音寺潮五郎記念「銀杏文芸賞」の入賞者と「読書感想文・感想画コンクール」の入賞者の表彰がありました。今回は学校名が当日の資料の中に書いてありませんでしたが、何か公表出来ない理由があったのでしょうか。

(中村課長)

そういうことではございません。

(永野治委員)

県下色々なところから来ていると思いますが、例えば学校賞が大口小学校でしたし、鶴丸高校はいつも多いのでわかるのですが、我々としては、地元の小中高生がどれくらいの評価を受けているのかを知りたかったので、公表できない理由があったのかと思いながら見るところでした。我々としては学校名が欲しいと感じるところでした。良い会だったと思いました。鼎談も新しいメンバーが二人いらっしゃいましたので、新しい視点からの鼎談であり、非常に興味深かったと思いました。

続いて、12月9日の前教育長の退任式から、12月12日の新しい教育長の辞令交付式・就任式まで一緒に参加しましたが、私も身を引き締まる思いで、退任と就任の両方に立ち会えたというのは非常に良かったと思っております。

12月5日には、前教育長の送別会を事務局の方で段取りしていただきましたが、コロナ禍のなかで人数制限しながら会を開いていただきまして、感謝を申し上げたいと思います。就任の場合はずっと会えますが、退任とか送別となると最後のお別れですので、やはりどこかで私自身もけじめが必要な人間で、このような会を企画していただきまして本当に有難かったです。お礼を申し上げます。

12月12日は同じように臨時教育委員会に臨んで、新しく教育長職務代理者を拝命いただきましたので心機一転頑張りたいと思っております。

教育には直接関係なかったのですが、12月11日に大口ふれあいセンターが最後だということで「いさあつめ」というイベントを市地域振興課で企画されました。午前中に私も行きましたが、ワークショップがあって、子どもたち、親子連れが非常に多く盛況だったと感じました。1日の流れで、ワークショップでリースの手作りがあり、夕方はイルミネーション点灯式のセレモニーが外のスクウェアの方であったようですが、1日大口ふれあいセンターが賑わって大いに良いことだと思えるところでした。子どもたちがコロナ禍になって、なかなかイベントとか人が集まる所に行けない状況がずっと続いたなかで、そういう反動もあったのかと思いますが、あまり来ないだろうと思っていたところ、意外と沢山きていました。伊佐市もやっぱりこういうイベントとか、子どもたちから老若男女まで集まる企画というのは、また新しい大口ふれあいセンターに代わるものが出来たときには、そういうものも企画の中に入れていただいたら良いのではと思います。

私の方は以上でございます。

(春田教育長)

ありがとうございました。次に、久保田委員お願いいたします。

(久保田委員)

はい。森教育長の退任式の方に参加させてもらいました。非常に森教育長も笑顔でここを去られたので、自分も一生懸命涙を堪えながら笑顔で見送ったところでした。森教育長もまだやり残したこともあったと思いますが、またそれを新しい春田教育長と一緒に自分も気を引き締めながら伊佐の子どもたちのために頑張っていきたいと改めて思うところでした。

以上です。

(春田教育長)

ありがとうございました。次に、長野吉泰委員お願いいたします。

(長野吉泰委員)

はい。11月27日「海潮忌・文学フェスティバル」に参加しました。私自身も勉強になるというか、色々な作品を見て、色々な考えを感じられて良かったと思います。

12月10日、森教育長の引越しということで、〇〇まで引越しのお手伝いをさせていただきました。なかなか最近先生たちを見送ることも少なくなったなかで、最後まで見送れたということは、一つの区切りとなって良かったのではないのかと思いました。

12月11日、伊佐地区ロードレース大会の応援に行きました。毎年見に行くのですが、段々若い選手も出てきて、良い成績も出してくれるということで凄く心強く、今度の県下一周駅伝大会も楽しみだと思って見ていました。また、小学校、中学校の年代にも良い選手が出てきていますので、そういった選手もうまく成長してくれればと思って応援したところでした。

以上です。

(春田教育長)

ありがとうございました。教育長及び教育委員の報告につきましては、以上でよろしかったでしょうか。

(全員)

はい。

(春田教育長)

次に、議事に進みたいと思いますが、今回は、報告事項、付議事件ともございません。

次に、委員から提出された動議の討論等に入ります。前もって提出された動議はございませんが、何かございますでしょうか。

(全員)

特にありません。

(春田教育長)

ないようですので、以上で討論等を終わります。

次に、その他の件に入ります。

まず教育総務課の方から報告があるようですのでお願いします。

(平崎課長)

はい。教育総務課からの報告となります。

昨日12月22日の議会最終日におきまして、奨学生条例が可決されましたが、文教厚生委員会から返還免除の就労規定については、内容を明確にするよう申し入れがありました。このことから本来本日施行規則を上程する予定でしたが、この就労規定の具体的なところまで精査したうえで委員の皆様方にお諮りしたいということになりましたので、よろしくお願ひいたします。2月から募集事務が行えるよう施行規則の改正を行い、来月の定例教育委員会でご報告出来るよう進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

(春田教育長)

次に、学校給食センターの方からお願いします。

(有馬所長)

はい。先程教育長の方からも12月14日に行われました経営戦略会議で、学校給食会計の公会計化についての協議をしたという説明がございましたが、現在本市の学校給食会計は、給食費の徴収を学校が、食材の購入を学校給食センターで行う「私会計」という方式で取り扱っております。国の方で学校給食費については地方公共団体が徴収を基本にすべきという方針が示されていることから、令和5年4月から市が学校給食費を歳入として扱い、食材の購入費を歳出予算に計上し管理運営する公会計方式に移行するという方向性が決まりました。公会計化による効果としましては、教職員の負担軽減、保護者の利便性の向上や負担軽減、給食費を市が管理することによりまして透明性や公平性の確保などが見込まれ

るところでございます。公会計化のスケジュールとしましては、4月から開始するというので、細かい点につきましてはそれまでの間にスムーズに移行できるように進めていきたいと考えております。

以上で、学校給食センターからの公会計化についての説明を終わります。

(春田教育長)

教育総務課の方は奨学金関係、学校給食センターの方は給食費の取り扱いの関係でございました。

その他、何かございませんでしょうか。

(久保田委員)

はい。菱刈中学校に今度着任される教頭先生のことについて教えていただけますか。

(春田教育長)

12月27日付で、朝こちらで辞令交付をいたします。

今度着任する教頭につきましては、現在鹿児島市立西紫原小学校の養護教諭「馬場晴子」。この先生が、菱刈中学校の教頭として着任されます。一応現在の情報では今度の週末あたりに荷入れをされて、火曜日から勤務ができる体制となります。この馬場教頭はこれまで職種は養護教諭ですけれども、小学校を3校12年、中学校に2校11年、行政の方に県教育庁保健体育課指導主事を3年していらっしゃいます。私も個人的に申しますと、私が鹿児島市の保健体育課の時に伊敷中学校の養護教諭として中心的な活動をなさっていました。

以上でございます。

(久保田委員)

もう一つよろしいでしょうか。

新しい教頭先生が着任されるまで、菱刈中学校の校長先生も業務とか辛労とかものすごく多忙だったと思います。校長先生もそうですが、教頭先生のこと子どもたちの様子とかケアが必要な状態とかがあったのかを教えてください。

(春田教育長)

学校教育課長お願いします。

(竹下課長)

はい。臨時PTAを開いて保護者説明会のことについては、前任の森教育長から報告があったとおり非常に冷静に聞いていただいて、色々質問も想定をしていましたが、ほとんど質問もなく終えたところです。翌週からの子どもたちの様子も、時期がちょうど試験が終わってテスト返却の時期であることもあって、子どもたちはむしろ教頭先生のそういったことよりも、自分の点数とかそれに気持ちがいって皆冷静でありました。本課の教育相談員2名を常駐させましたが、通常と違う体制をとることが逆に刺激なるといけないとのことで、1日で引き揚げました。特に欠席者が増えるとか、担任や養護教諭に不安を訴えるようなこともなく、話に聞くと一部子どもたちが冗談ぽく前任の教頭のことを話題にしたこともあったようですが、周りはそれに同調せずに受け流すという状況だったようです。ただご指摘のとおり、教頭がひと月以上不在でしたので、当然その業務を校長を中心に事務職員、教務主任がカバーしながらご苦労されたと思います。校長がどうしても出会しないといけないような会があるときは、管理職不在という状況を作らないように、本課の職員を派遣して学校を支援してまいりました。先日の新聞報道の前日に校長を呼び、春田教育長の方から新任教頭の配置について説明したときに大変校長も喜んでいらっしゃって、今月末任命という流れになります。

(久保田委員)

ありがとうございます。

(春田教育長)

他にございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(春田教育長)

	<p>それではないようですので、これもちまして、令和4年第12回定例教育委員会を閉会します。 (茶園係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p>
--	--